連合 esen

No. 128
【2019. 2.28】

連合岩手気仙地域協議会
大船渡市猪川町前田 9-17
TEL 0192-27-8671
FAX 0192-47-3471
http://www.rengo-iwate.jp/

発行責任者：梅木　傅
編集責任者：星　正和

2019春季生活闘争　連合岩手気仙地域討論集会

二月二〇日、気仙教育会館において連合岩手気仙地域討論集会を開催し、二〇一九春闘の現状課題や「働き方改革の見直し」の概要を共有するとともに、各単組から単組課題、春闘方針の報告を受け、地域における闘う決意を固めあった。

二月一二-一四日にわたり交渉形態別（地場・中央交渉・官公労）に単組間の情報交換会を行い、気仙地域討論集会では各単組を代表して岩教組、三栄工業労組、太平洋セメント労組から課題と取り組みの報告を受けた。

討論集会の冒頭、梅木議長は、「交渉の場は単組によって違うが他単組の要求や労働環境の改善対応を考察し満額妥結に向けて奮闘しよう」と挨拶。連合岩手からは原副事務局が出席した。

情報交換会を含めた報告では、通勤規制の在り方・人員不足、安全衛生委員会など課題解決には制度的な解決や業務の見直しが必要、休憩時間・危険作業の課題、定年延長の引き上げ、保留年休をインフル等への休暇使用、北陸新幹線・オリンピック・リニア中央関連の需要が見込める、カフェテリアプランの利便性向上、家族手当の拡大、社宅使用料の見直し撤回、交替・日曜勤務の手当要求、呼び出し手当・出張費の増額、特別年休・有休のカット分を病欠に代替、帰省手当の実費要求、勤務インターバルの時間拡大、安全衛生委員会・安全パトロールの現状、六〇歳以降の働き方など。

最後に原副事務局長より総評をいただき、春闘勝利に向けて梅木議長が団結ガンバローを三唱して閉会した。

連合 労働相談ホットライン
0120-154-052

雇用の不安
雇い止めの
不安はありませんか？

破天荒プロジェクト

若者の活力 UP 事業
今年も開催

恋GO party part 2 Rengo

日時：４月 20 日（土）
受付 17：30　18 時～21 時
会場：千葉幸会館
会費：男 3,000 円、女 1,000 円
対象：35 歳以下、各 30 名まで
各単組は、男性５名に厳選

連合気仙青年委員会「破天荒プロジェクト」が企画する若者たちの出会いと交流の場です。
気軽に参加して単組の組合員や一般の方々と楽しく語らい
友達を増やそう！
－ミニゲームもあります♡－

恋GO レッツGO－

Action! 36 労働基準法改正
2019 年４月から

3月6日は「36の日」
日本記念日協会に登録されました

働き過ぎにレッドカード!!

- **労働時間の上限規制**（第 36 条等）
  労働時間の基本原則は、１日８時間、週 40 時間以内。法定休日は１週間に１日または４週間を通じて４日の休日と定められている。これを超えて働く場合は、時間外労働・休日労働になる。
  36 協定の締結で例外的に協定の範囲内でのみ、時間を超えて働くことがでる。ただし、時間外労働・休日労働は必要最小限にすべきであり、４ 月から上限規制が規定されたので、違反した場合は「6 カ月以下の懲役又は 30 万円以下の罰金」の罰則がある。処罰対象は労基法上の使用者です。
- **年５日の年次有給休暇の取得義務**（第 39 条）
  10 日以上の年次有給休暇が付与される労働者に対し、使用者は時季を指定して５日を取得させることを規定。この場合、使用者は労働者に聴取し、労働者の意見を尊重して取得時季の指定をしなければならない。違反した場合は罰則有り。
- **クラシノソコアゲ応援団！第４弾　３月６日**
  地協幹事会・単組の協力の基に Action!36 の早朝街頭行動、気仙一円の街宣演説行動を実施します。
  場所：①キャッセン大船渡前交差点
  ②大船渡警察署近郊交差点　各朝７時から

二〇一九年 連合気仙 新春旗開き

一月一六日、佐藤連合岩手事務局長、戸田大船渡市長、田村県議会議員、労福団体・推薦議員等のご来賓、組合員等一二四名が参加して連合気仙「新春旗びらき」をアーバン大船渡で開催した。

参加者は「働くことを軸とする安心社会の実現」に向けた諸活動、二〇一九春闘や次期統一地方選挙・参議院選挙を闘い抜く決意を固めた。

また、青年委員会が連合「愛のカンパ」を呼びかけ、四〇,三六二円のご協力をいただき、有難うございました。

-2019 春季生活闘争-

妥結状況報告集会

日時:　４月15日(月)18時
場所:　気仙教育会館２Ｆホール
構成:　各単組執行部役員
:　気仙地協幹事会役員
内容:　春闘状況及び妥結状況の報告

第３回組織代表者会議

日時:　報告集会終了後
構成:　各単組代表者
:　地協議長
事務局長･事務局次長
議題:　第９０回気仙地区メーデーの開催について

らど id 19

昔、スキーをやっていました。私が二〇代の頃、スキーブームがあり、私も職場の先輩方に連れられて、スキーを習いました。腕前は余り期待されても困りますが、シーズン中、一五～六回スキー場に通いました。岩手県内、安比をはじめ、雫石、網張、夏油。山形蔵王、北海道。

気の合う仲間と、朝四～五時に待ち合わせて、車の屋根にスキー板を載せて、三～四時間かけて通い、楽しかった。スキーそのものより仲間とわいわい道中を過ごしていることが楽しかったような気もします。寄り道したり、道をまちがえたり、たまに事故ったり…と。

安比スキー場は一番通ったスキー場。皆のあこがれで、混んでました。コースも多くゴンドラ、リフトも並ばない方法を考えながら利用していました。

雫石スキー場も人気があり、何度も行きました。コースが尾根沿いに作られているので横風が強く、また谷に落ちそうで怖い。

素朴な雰囲気の網張スキー場が一番のお気に入りです。通好みのスキー場なので回りがみんな、うまい！。

自分にぶつかってくる人がいない。コースも手ごわいので滑っていて飽きない。等々。

結婚して、子供ができて、事故で足を怪我したこともあり遠ざかってしまったけれど、いつかまた、仲間とたわむれて行ってみたい。当時の華やかな頃を知る身としては、現在の閑散としたスキー場を見るのは忍びないが、いつか戻りたい。

山頂の冷たく澄んだ空気、旨いんですよね。　傅・U